

講座の目的 : e-Stat^{※1}やjSTAT MAP^{※2}を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を習得する

開講期間 : 令和8年1月13日(火)～3月17日(火)

学習時間 : 1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週

課題 : 各週の確認テストと最終課題の実施

講師 : 西内啓氏(株式会社データビーグル共同創業者)ほか



週	各週のテーマ	内容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例、基本的な活用方法を学ぶ (統計を仕事に活かすとは、e-Statを使った現状把握・関連要因の探索・将来の予測等)
2	公的統計データの活用①	国の経済の規模をはかるGDP統計と関連する公的統計の見方を学ぶ (景気判断に求められる統計、GDP統計の読み方、GDPの名目と実質等)
3	公的統計データの活用②	人口統計・労働関連統計を中心に景気判断に用いられる統計の見方を学ぶ (経済成長と人口統計、労働市場の分析、公的統計の活用(人口統計、雇用・賃金統計)等)
4	地図で見る統計(jSTAT MAP)の活用	統計データと地図を組み合わせた活用方法等を学ぶ (地図で見る統計(jSTAT MAP)の機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 総務省統計局及び独立行政法人統計センターが運用する、各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計データを把握できる地理情報システム

▶講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)

統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)

初回開講：平成27年3月
直近の開講：令和7年6月
開講回数：23回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心には延べ
約23万1千人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)

初回開講：平成28年4月
直近の開講：令和7年9月
開講回数：16回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～8回程度
(1週間)×5週

(実績)

社会人を中心には延べ
約10万5千人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)

e-Stat(政府統計の総合窓口)等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ

(開講時期)

初回開講：平成29年6月
直近の開講：令和7年1月
開講回数：14回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心には延べ
約6万4千人が受講